

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、「E X E - i グローバル中小型株式ファンド」は、2020年5月12日に第7期決算を行いました。

当ファンドは、主としてETF（上場投資信託）への投資を通じて、世界（日本を含む）の中小型株式へ実質的に投資し、信託財産の中長期的な成長を図ることをめざして運用を行いました。

ここに期中の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。

E X E - i グローバル 中小型株式ファンド

追加型投信／内外／株式

交付運用報告書

第7期（決算日2020年5月12日）

作成対象期間（2019年5月14日～2020年5月12日）

第7期末（2020年5月12日）

基準価額	13,601円
純資産総額	5,800百万円
第7期	
騰落率	△14.4%
分配金（税込み）合計	0円

（注1）騰落率は分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

（注2）純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

（注3）当報告書における比率は、表示桁未満を四捨五入しております。

- 交付運用報告書は、運用報告書に記載すべき事項のうち重要なものを記載した書面です。その他の内容については、運用報告書（全体版）に記載しております。
- 当ファンドは、投資信託約款において運用報告書（全体版）に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書（全体版）は、右記ホームページにて閲覧・ダウンロードいただけます。
- 運用報告書（全体版）は、受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

<運用報告書（全体版）の閲覧・ダウンロード方法>
右記SBIアセットマネジメントのURLにアクセス
⇒「ファンド情報」⇒「当該ファンド」を選択 ⇒「目論見書・定期レポート等」を選択⇒「運用報告書（全体版）」より該当の決算期を選択ください。

 **SBI Asset Management**

SBIアセットマネジメント株式会社

東京都港区六本木1-6-1

お問い合わせ先

電話番号 03-6229-0097

受付時間：営業日の9：00～17：00

ホームページから、ファンドの商品概要、レポート等をご覧いただけます。

SBIアセットマネジメント

URL:<http://www.sbi-am.co.jp/>

E X E - i 専用Webサイト

URL:<http://www.sbi-am.co.jp/EXE-i/>

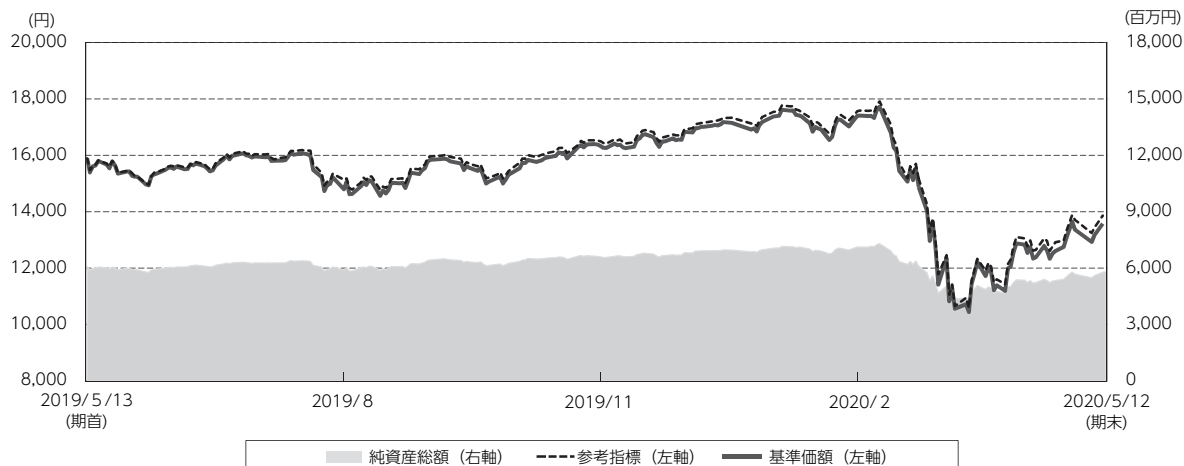
E X E - i Facebookページ

URL:<https://www.facebook.com/sbiamexei/>

運用経過

基準価額等の推移

(2019年5月14日～2020年5月12日)



期 首：15,895円

期 末：13,601円 (既払分配金 (税込み)：0円)

騰落率：△14.4%

(注1) 参考指標は2015年1月まではMSCIオール・カントリー・ワールド・インデックス・スモールキャップ (米ドルベース) を、2015年2月からはFTSEグローバル スモール・キャップ インデックス (米ドルベース) を委託会社で円換算しています。詳細はP12をご参照ください。

(注2) 参考指標は、2019年5月13日の値が当ファンドの基準価額と同一になるよう指数化しております。

(注3) 当ファンドは、設定日以降分配を行っていないため分配金再投資基準価額は記載しておりません。

○基準価額の主な変動要因

上昇要因

米中通商協議の進展期待や外国為替市場における円安進行に加えて、各国の政府や中央銀行が景気下支えのために拡張的・緩和的な財政金融政策を実施したことなどにより、株式市場が上昇したことなどが基準価額の上昇要因となりました。

下落要因

米中通商問題の激化による景気への悪影響のほか、新型コロナウイルスの感染拡大を受けた世界経済への懸念により株式市場が下落したことや、外国為替市場におけるリスク回避の円高進行などが基準価額の下落要因となりました。

1万口当たりの費用明細

(2019年5月14日～2020年5月12日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 39	% 0.252	(a)信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
(投 信 会 社)	(17)	(0.110)	委託した資金の運用の対価
(販 売 会 社)	(17)	(0.110)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(5)	(0.033)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売 買 委 託 手 数 料	1	0.009	(b)売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 ※売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(投 資 信 託 証 券)	(1)	(0.009)	
(c) 有 価 証 券 取 引 税	0	0.000	(c)有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 ※有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(投 資 信 託 証 券)	(0)	(0.000)	
(d) そ の 他 費 用	2	0.015	(d)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(2)	(0.012)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監 査 費 用)	(1)	(0.004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(そ の 他)	(0)	(0.000)	信託事務の処理等に要するその他費用
合 計	42	0.276	
期中の平均基準価額は、15,456円です。			

(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 消費税は報告日の税率を採用しています。

(注3) 項目ごとに円未満は四捨五入しております。

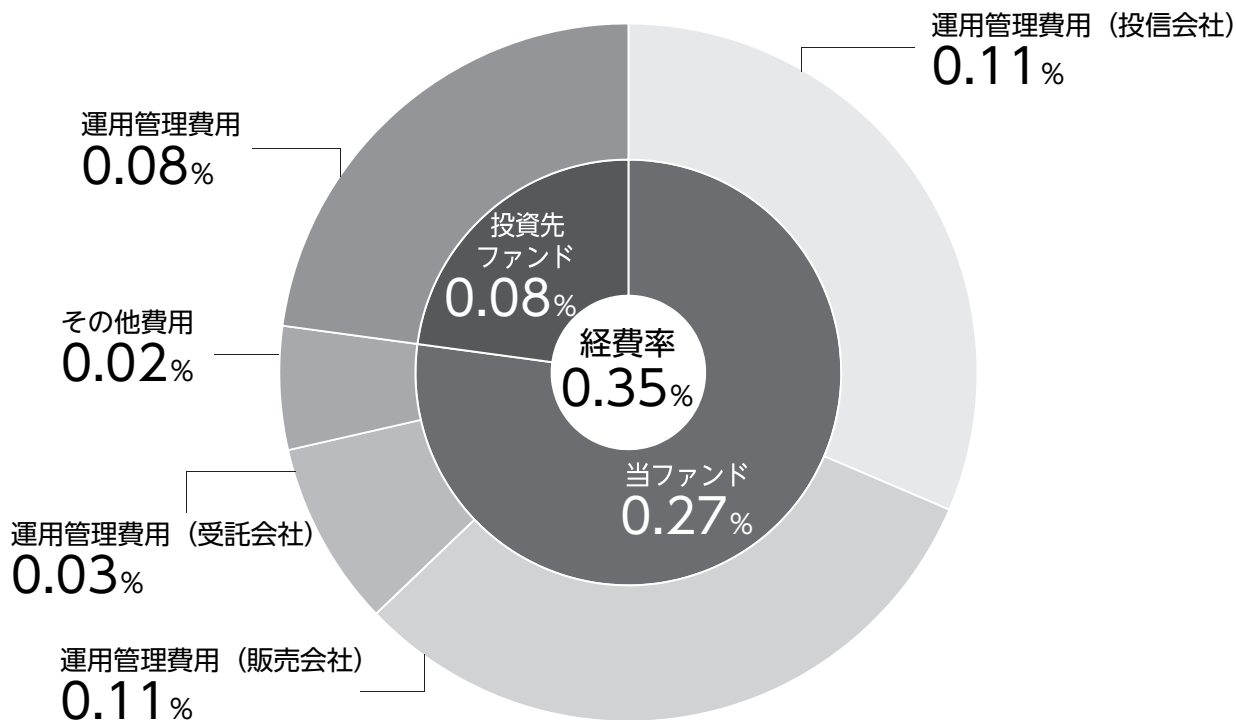
(注4) 各項目の費用は、このファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）が支払った費用を含みません。

(注5) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(参考情報)

○経費率（投資先ファンドの運用管理費用以外の費用を除く）

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した経費率（年率）は0.35%です。



経費率 (①+②)	0.35%
①当ファンドの費用の比率	0.27%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.08%

(注1) ①の費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) ②の費用は、各月末の投資先ファンドの保有比率に当該投資先ファンドの運用管理比率を乗じて算出した概算値です。

(注3) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注4) 各比率は、年率換算した値です。なお、四捨五入の関係により、合計が一致しない場合があります。

(注5) 投資先ファンドとは、このファンドが組入れている投資信託証券です。

(注6) ①と②の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注7) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

最近5年間の基準価額等の推移

(2015年5月12日～2020年5月12日)



(注) 当ファンドは、設定日以降分配を行っていないため分配金再投資基準価額は記載しておりません。

	2015年5月12日 期首	2016年5月12日 決算日	2017年5月12日 決算日	2018年5月14日 決算日	2019年5月13日 決算日	2020年5月12日 決算日
基準価額 (円)	14,289	11,954	14,968	16,661	15,895	13,601
期間分配金合計 (税込み) (円)	—	0	0	0	0	0
基準価額騰落率 (%)	—	△ 16.3	25.2	11.3	△ 4.6	△ 14.4
参考指標騰落率 (%)	—	△ 15.9	24.6	12.1	△ 3.0	△ 12.6
純資産総額 (百万円)	2,133	2,641	3,830	5,191	6,082	5,800

(注1) 参考指標は2015年1月まではMSCIオール・カントリー・ワールド・インデックス・スモールキャップ (米ドルベース) を、2015年2月からはFTSEグローバル スモール・キャップ インデックス (米ドルベース) を委託会社で円換算しています。詳細はP12をご参照ください。

(注2) 参考指標は、2015年5月12日の値が当ファンドの基準価額と同一になるよう指数化しております。

(注3) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

(注4) 騰落率は1年前の決算応当日との比較です。

投資環境

(2019年5月14日～2020年5月12日)

<中小型株式市場>

期首は米中両国の関税引き上げによる貿易摩擦の深刻化を警戒した売りが優勢となったほか、欧州委員会がユーロ圏の経済成長見通しを引き下げたことも嫌気され、調整局面となりました。2019年6月以降は、欧州中央銀行（ECB）の緩和政策への期待や、米連邦公開市場委員会（FOMC）において年内に最大0.5%の利下げが実施される可能性があることと示唆されたことを受けて反発しました。

その後、米国株式市場は最高値近辺での値動きが続いた一方、欧州株式市場は、英国の欧州連合（EU）離脱に対する先行き不透明感等から上値の重い展開が続いていましたが、10月に入ると合意期待の高まりとともに欧州株式市場は上昇に転じました。また、米中通商協議の進展期待が高まったことから、先進国株式市場は上昇基調となりました。しかし、その後は米中通商協議の進展期待の後退や香港情勢の緊迫化、中国の経済指標の弱さなどが嫌気され、調整しました。

また、米国で香港人権法案が可決されると、米中関係悪化への警戒から大きく売られたものの、その後は、米中首脳による通商協議への前向きな発言が伝わり、2020年1月に「第1段階」の合意が達成されたことを受けて、高値圏で推移しました。先進国株式市場は2月半ばまでは堅調な展開だったものの、同月下旬以降は、新型コロナウイルスの感染拡大を受けて中国以外の先進国や新興国などで都市封鎖や経済活動が停止されると、急落しました。先進国株式市場は3月半ばにかけて続落しましたが、その後は主要国の財政金融政策などの下支えにより過度な懸念が後退し、3月下旬以降は反発基調が継続しました。しかし、5月に入ると、トランプ米大統領による中国批判や対中追加関税の示唆など、新型コロナウイルスをめぐる米中関係の緊張の高まりにより、世界の株式市場はやや下落して期末を迎えました。

<外国為替市場>

ドル／円は、期首から2019年8月にかけては、米中通商問題による景気の先行き不安や、英国のEU離脱への先行き不透明感、米国長期金利の低下が材料となり、円高・ドル安が進み、一時は1ドル＝104円台半ばまで円高が進みました。その後、香港情勢や英国の政治混乱をめぐる懸念が和らいだことから、108円台までやや円安・ドル高が進む局面もみられましたが、10月上旬に発表された米経済指標の悪化を受けて再びドル売りが入り、106円台まで円高が進みました。

10月以降は、米中通商協議の進展期待、英国とEU間での離脱合意期待の高まり、米国の長期金利上昇などを受けて、ドル買い・円売りが進み、109円台半ばまで上昇後、株式市場の下落などにより108円台まで下落しました。

年明け以降は、中東情勢緊迫化により一時107円台まで円高が進行したものの、米中関係の改善期待や堅調な米経済指標を受けて110円台まで円安が進みました。しかしながら、その後は新型コロナウイルスの感染拡大を受け、リスク回避の動きから108円台前半まで下落しました。

2月以降は、中国の経済対策や株高を受けて112円台前半まで急速に円安が進んだものの、新型コロナウイルスの感染拡大による世界的な株安・金利低下を背景に一転して円高となり、さらに原油価格の急落や米国の景気後退懸念による株式市場の続急落を受けた円高・ドル安により、一時101円台を付けました。その後は、米長期金利の上昇などにより一転してドル買いとなり、一時は111円台まで円安が進行しました。

3月下旬以降は、米国の量的緩和策導入により米長期金利が低下したことに加えて、各国による景気刺激策による下支えにより、金融市場が落ち着きを取り戻したことから、おおむね107円台から109円台で推移しました。期末にかけては、トランプ米大統領による中国批判や対中追加関税の示唆など、新型コロナウイルスをめぐる米中関係の緊張の高まりにより株安・円高が進行し、一時は106円台を付けたものの、その後は107円台半ばまで円安が進行して期末を迎えました。

当ファンドのポートフォリオ

(2019年5月14日～2020年5月12日)

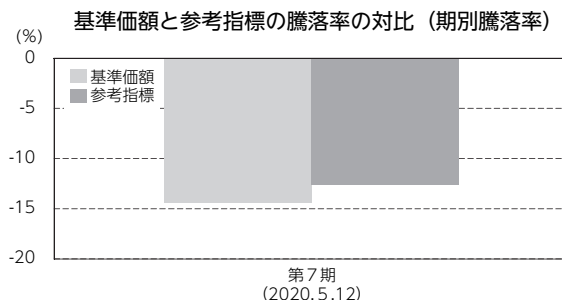
モーニングスター・アセット・マネジメントの投資助言に基づいた基本投資割合に従い、海外のETF（上場投資信託）への投資を通じて、世界（日本を含む）の中小型株式へ実質的に投資を行いました。投資比率の合計は95%以上の高位を保ちました。

当ファンドのベンチマークとの差異

(2019年5月14日～2020年5月12日)

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。

右記のグラフは、基準価額と参考指標の騰落率の対比です。



(注) 参考指標はFTSEグローバル スモール・キャップ インデックス（円換算ベース）を使用しています。
詳細はP12をご参照ください。

分配金

(2019年5月14日～2020年5月12日)

当期は基準価額等を勘案した結果、収益分配は行わないことといたしました。

なお、収益分配にあてなかった利益につきましては、信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

○分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり、税込み)

項 目	第7期
	2019年5月14日～ 2020年5月12日
当期分配金	—
(対基準価額比率)	—%
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	6,303

(注1) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注2) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針

主としてETF（上場投資信託）への投資を通じて、世界（日本を含む）の中小型株式へ実質的に投資し、世界（日本を含む）の中小型株式市場の値動きと同等の投資成果をめざします。当ファンドの運用にあたっては、モーニングスター・アセット・マネジメントの投資助言を受け、原則として年1回基本投資割合の見直しを行います。

お知らせ

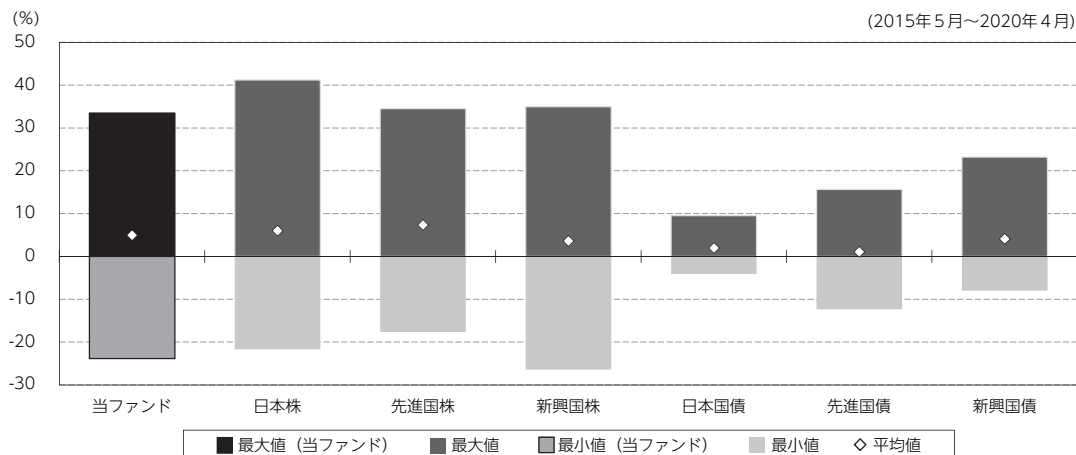
該当事項はありません。

当ファンドの概要

商 品 分 類	追加型投信／内外／株式
信 託 期 間	無期限（2013年5月13日設定）
運 用 方 針	・主として世界（日本を含む）の中小型株式市場の値動きに連動する投資対象ファンドを複数組合せることにより、信託財産の中長期的な成長をめざします。 ・参考指標は、FTSEグローバル スモール・キャップ インデックス（円換算ベース）とします。（2020年5月12日現在） ・市場の変動により、投資対象ファンドの組入比率が基本投資割合から乖離した場合は、原則として3カ月に1回、基本投資割合へ戻す調整を行います。 ・基本投資割合の見直しについては、投資対象ファンドの経費率、パフォーマンス、参考指標との連動性、流動性等を考慮して、原則として1年に1回行います。 ・当ファンドは、ファンド・オブ・ファンズ方式で運用を行い、実質的な運用は投資信託証券への投資を通じて行います。 ・当ファンドの運用にあたっては、「モーニングスター・アセット・マネジメント株式会社」の投資助言を受けます。
主要投資対象	主としてETF（上場投資信託）への投資を通じて、世界（日本を含む）の中小型株式へ実質的に投資します。
運 用 方 法	主として世界（日本を含む）の中小型株式市場の値動きに連動する投資対象ファンドを複数組合せることにより、信託財産の中長期的な成長をめざします。
分 配 方 針	毎決算時（年1回毎年5月12日。休業日の場合は翌営業日とします。）に、分配方針に基づき分配を行います。分配対象額の範囲は、繰越分を含めた経費控除後の利子・配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額とし、委託会社が基準価額水準、市場動向等を勘案して収益分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合は、分配を行わない場合があります。

(参考情報)

○当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(単位：%)

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	33.5	41.2	34.5	35.0	9.5	15.7	23.2
最小値	△ 23.8	△ 21.7	△ 17.6	△ 26.4	△ 4.1	△ 12.3	△ 8.0
平均値	5.0	6.0	7.4	3.6	2.0	1.1	4.1

(注1) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注2) 2015年5月から2020年4月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。

(注3) 上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

《各資産クラスの指数》

日本株…Morningstar 日本株式

先進国株…Morningstar 先進国株式 (除く日本)

新興国株…Morningstar 新興国株式

日本国債…Morningstar 日本国債

先進国債…Morningstar グローバル国債 (除く日本)

新興国債…Morningstar 新興国ソブリン債

※海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しています。各指数は、全て利子・配当込みのグロス・リターンの指数です。

*各指数についての説明は、P12の「代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について」をご参照ください。

当ファンドのデータ

組入資産の内容

(2020年5月12日現在)

○組入上位ファンド

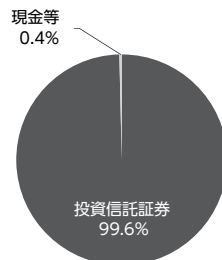
銘 柄 名	第7期末
	%
バンガード・スモールキャップ ETF	59.7
バンガード・FTSE・オールワールド (除く米国) スモールキャップETF	40.0
組入銘柄数	2銘柄

(注1) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

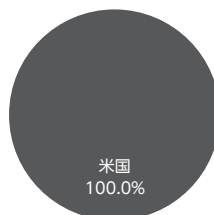
(注2) 組入銘柄に関する詳細な情報等につぎましては、運用報告書 (全体版) に記載されています。

(注3) 2019年2月より投資対象ファンドを変更しています。

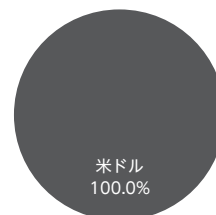
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注1) 資産別配分の比率は純資産総額に対する割合です。

(注2) 国別配分は組入投資信託証券の株式評価額に対する比率です。

(注3) 国別配分は発行国を表示しております。

(注4) 通貨別配分は組入投資信託証券の株式評価額に対する比率です。

純資産等

項 目	第7期末
	2020年5月12日
純 資 産 総 額	5,800,490,933円
受 益 権 総 口 数	4,264,681,205口
1万口当たり基準価額	13,601円

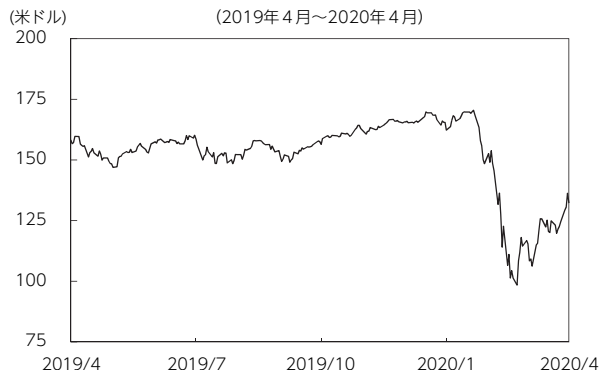
(注) 期中における追加設定元本額は1,443,690,597円、同解約元本額は1,005,712,067円です。

組入上位ファンドの概要

バンガード・スモールキャップ ETF

【基準価額の推移】

(2019年4月～2020年4月)



【組入上位10銘柄】

(2020年4月末現在)

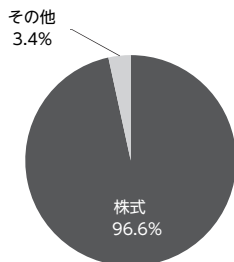
	銘柄名	比率
		%
1	DocuSign Inc. Class A	0.47
2	West Pharmaceutical Services Inc.	0.45
3	Leidos Holdings Inc.	0.45
4	Tyler Technologies Inc.	0.40
5	Zebra Technologies Corp.	0.39
6	Insulet Corp.	0.39
7	Atmos Energy Corp.	0.39
8	STERIS plc	0.39
9	Teladoc Health Inc.	0.38
10	Teledyne Technologies Inc.	0.38
組入銘柄数		1,342銘柄

(注) 比率は純資産総額に対する割合です。

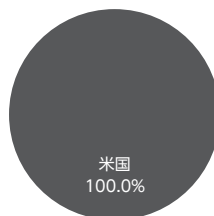
【1万口当たりの費用明細】

入手可能な1万口当たりの費用明細のデータが存在しないため、掲載しておりません。

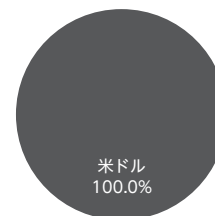
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



(注1) 資産別・国別・通貨別のデータは2020年4月30日現在のものです。

(注2) 資産別・通貨別配分の比率は純資産総額に対する割合です。

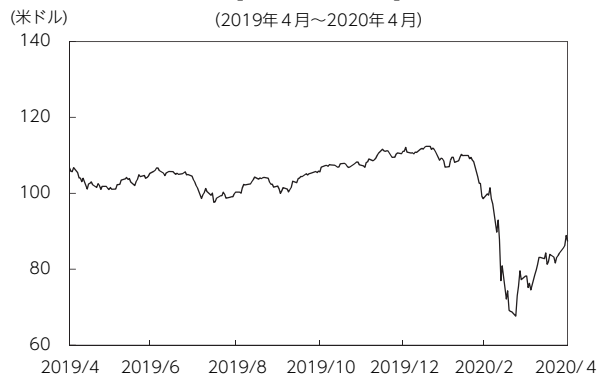
(注3) 国別配分は株式評価額に対する比率です。

(注4) 国別配分は発行国を表示しております。

※Bloomberg及びThe Vanguard Group,Inc.のデータを基にSBIアセットマネジメントが作成

バンガード・FTSE・オールワールド（除く米国）スモールキャップETF

【基準価額の推移】



【組入上位10銘柄】

(2020年4月末現在)

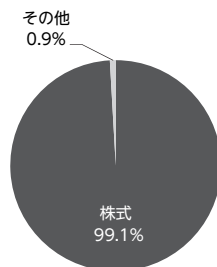
	銘柄名	比率
1	Kirkland Lake Gold Ltd.	0.5%
2	Open Text Corp.	0.5%
3	Emera Inc.	0.5%
4	Kinross Gold Corp.	0.4%
5	Algonquin Power & Utilities Corp.	0.3%
6	WSP Global Inc.	0.3%
7	Canadian Apartment Properties REIT	0.3%
8	Evolution Gaming Group AB	0.3%
9	B2Gold Corp.	0.2%
10	HelloFresh SE	0.2%
組入銘柄数		3,952銘柄

(注) 比率は純資産総額に対する割合です。

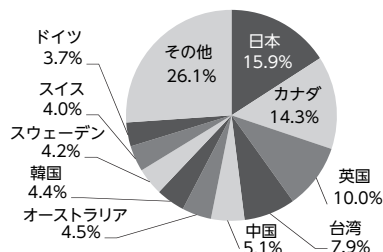
【1万口当たりの費用明細】

入手可能な1万口当たりの費用明細のデータが存在しないため、掲載しておりません。

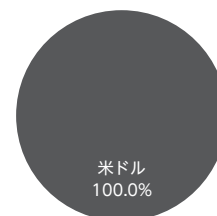
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



(注1) 資産別・国別・通貨別のデータは2020年4月30日現在のものです。

(注2) 資産別・通貨別配分の比率は純資産総額に対する割合です。

(注3) 国別配分は株式評価額に対する比率です。

(注4) 国別配分は発行国を表示しております。

※Bloomberg及びThe Vanguard Group, Inc.のデータを基にSBIアセットマネジメントが作成

＜当ファンドの参考指標について＞

参考指標は2015年1月まではMSCIオール・カンントリー・ワールド・インデックス・スモールキャップ (米ドルベース) を、2015年2月からはFTSEグローバル スモール・キャップ インデックス (米ドルベース) を委託会社で円換算しています。

○FTSEグローバル スモール・キャップ インデックス

FTSEグローバル スモール・キャップ インデックスとは、FTSE社が開発した指数で世界の中小型株式市場全体の動きを表す指数です。同指数に対する著作権、知的財産権その他一切の権利はFTSE社に帰属します。

＜代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について＞

〈各指数の概要〉

日本株：Morningstar 日本株式は、Morningstar, Inc.が発表している配当込み株価指数で、日本に上場する株式で構成されています。

先進国株：Morningstar 先進国株式 (除く日本) は、Morningstar, Inc.が発表している配当込み株価指数で、日本を除く世界の先進国に上場する株式で構成されています。

新興国株：Morningstar 新興国株式は、Morningstar, Inc.が発表している配当込み株価指数で、世界の新興国に上場する株式で構成されています。

日本国債：Morningstar 日本国債は、Morningstar, Inc.が発表している債券指数で、日本の国債で構成されています。

先進国債：Morningstar グローバル国債 (除く日本) は、Morningstar, Inc.が発表している債券指数で、日本を除く主要先進国の政府や政府系機関により発行された債券で構成されています。

新興国債：Morningstar 新興国ソブリン債は、Morningstar, Inc.が発表している債券指数で、エマージング諸国の政府や政府系機関により発行された米ドル建て債券で構成されています。

〈重要事項〉

本ファンドは、Morningstar, Inc.、又はイボットソン・アソシエイツ・ジャパン株式会社を含むMorningstar, Inc.が支配する会社 (これらの法人全てを総称して「Morningstarグループ」と言います) が組成、推薦、販売または宣伝するものではありません。Morningstarグループは、投資信託への一般的な投資の可否、特に本ファンドに投資することの可否、または本ファンドが投資対象とする市場の一般的な騰落率と連動するMorningstarのインデックス (以下「Morningstarインデックス」と言います) の能力について、本ファンドの受益者又は公衆に対し、明示又は黙示を問わず、いかなる表明保証も行いません。本ファンドとの関連においては、委託会社とMorningstarグループとの唯一の関係は、Morningstarのサービスマーク及びサービス名並びに特定のMorningstarインデックスの使用の許諾であり、Morningstarインデックスは、Morningstarグループが委託会社又は本ファンドとは無関係に判断、構成、算定しています。Morningstarグループは、Morningstarインデックスの判断、構成又は算定を行うにあたり、委託会社又は本ファンドの受益者のニーズを考慮する義務を負いません。Morningstarグループは、本ファンドの基準価額及び設定金額あるいは本ファンドの設定あるいは販売の時期の決定、または本ファンドの解約時の基準価額算出式の決定あるいは計算について責任を負わず、また関与しておりません。Morningstarグループは、本ファンドの運営管理、マーケティング又は売買取引に関連していかなる義務も責任も負いません。

Morningstarグループは、Morningstarインデックス又はそれに含まれるデータの正確性及び／又は完全性を保証せず、また、Morningstarグループは、その誤謬、脱漏、中断についていかなる責任も負いません。Morningstarグループは、委託会社、本ファンドの受益者又はユーザー、またはその他の人又は法人が、Morningstarインデックス又はそれに含まれるデータを使用して得る結果について、明示又は黙示を問わず、いかなる保証も行いません。Morningstarグループは、Morningstarインデックス又はそれに含まれるデータについて明示又は黙示の保証を行わず、また商品性あるいは特定目的又は使用への適合性に関する一切の保証を明確に否認します。上記のいずれも制限することなく、いかなる場合であれ、Morningstarグループは、特別損害、懲罰的損害、間接損害または結果損害 (逸失利益を含む) について、例えこれらの損害の可能性を告知されていたとしても責任を負いません。

EXE-i シリーズ専用サイトのご案内

投資者の皆様に向けて、様々なコンテンツをご用意しています

エグゼアイ

検索

「エグゼアイ」で検索いただくと専用サイトへアクセスできます
(「EXE-i」での検索でも可能です)

EXE-i EXE-iの特徴 商品概要 マーケット情報 知っ得? 納っ得!

ファンド情報

ファンド名	基準価額 (前日比)	純資産	ファンド情報
EXE-i 先進国株式ファンド	15,527円 (+35円)	8,547百万円	ファンドの特徴
EXE-i 新興国株式ファンド	10,152円 (-157円)	8,371百万円	ファンドの特徴
EXE-i グローバル/小中小型株式ファンド	13,051円 (+70円)	5,583百万円	ファンドの特徴
EXE-i 先進国債券ファンド	11,915円 (-9円)	1,378百万円	ファンドの特徴
EXE-i グローバル/REITファンド	10,464円 (-91円)	2,476百万円	ファンドの特徴

お知らせ

2017/10/06

EXE-i

EXE-i (エグゼアイ) シリーズ 紹介動画

EXE-i についてのお問い合わせ先

日々の基準価額や純資産総額、及びファンドの詳細ページへのリンクを掲載

月次マーケットレポート

当ファンドの助言会社でもあるモーニングスター社のアナリストによるマーケットレポートを毎月更新

国内/海外マーケットレポート

投資信託の評価会社、モーニングスター株式会社のアナリストによる各月のマーケットレポートです。

基準日：2020年4月30日

2020年4月のレポート

国内株式 日経平均株価、TOPIXいずれも上昇、日銀の追加金融政策の決定を背景に日経平均は2万円台を回復

2020年4月の国内株式市場は、日経平均株価が前月比6.75%、TOPIX（東証株価指数）は同4.35%と、いずれも3月の下落から一転上昇した。前半は、5日にニューヨーク州の新型コロナウイルス感染による1日当たりの死者数が前日比で減少したことと米国旗が上昇したことが波及したほか、日本で緊急事態宣言が発令され、経済停滞の不安材料が払戻したとの見方が増えたことなどから上昇した。後半は、16日にトランプ米大統領が一部地域の経済活動再開の指示を示したことや、日銀が追加の金融緩和策を決定したことなどから上昇し、30日には日経平均株価が2万円台を回復した。

インデックスファンドによろしく

漫画「ブラックジャックによろしく」のイラストを用いてEXE-iについて解説した漫画コンテンツ

インデックスファンドによろしく※

漫画「ブラックジャックによろしく」のイラストを用いて、EXE-i (エグゼアイ) について解説しています。

登場人物

- 黒川 雄一 30代前半のEXE-i (エグゼアイ)
- 黒川 雄二 EXE-i (エグゼアイ) と日本橋BSA
- 黒川 雄三 EXE-i (エグゼアイ) とNISA (ニーサ)
- 黒川 雄四 今のための投資、将来のための投資
- 黒川 雄五 EXE-i (エグゼアイ) 投資勉強
- 黒川 雄六 「低コスト」投資の魅力

インデックスファンドに
よろしく5

「ブラックジャックによろしく」佐藤秀典
＜漫画家 web http://mangaweb.com＞

※上記内容は2020年5月時点